【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公表番号】特表2008-511837(P2008-511837A)
【公表日】平成20年4月17日(2008.4.17)
【年通号数】公開・登録公報2008-015
【出願番号】特願2007-530328(P2007-530328)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　27/327　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/483　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　27/416　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　27/30　３５３Ｕ
Ｇ０１Ｎ　33/483　Ｆ
Ｇ０１Ｎ　27/46　３５３Ａ
Ｇ０１Ｎ　27/46　３５１Ａ
Ｇ０１Ｎ　27/46　３８６

【手続補正書】
【提出日】平成20年8月22日(2008.8.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
サンプルにおいて尿素を検出するデバイスであって、（ａ）尿素を含むと思われるサンプルが接触することが可能であるセンサであって、前記センサの少なくとも一部の上に固定化されたウレアーゼおよび炭酸脱水酵素の少なくとも２つの酵素を含むセンサ、ならびに（ｂ）前記センサからの信号を処理するための検出器システムを備える、デバイス。
【請求項２】
前記センサが、アンモニウム・イオン選択性センサを備える、請求項１に記載のデバイス。
【請求項３】
前記アンモニウム・イオン選択性センサが、アンモニウム・イオノフォアを含む、請求項２に記載のデバイス。
【請求項４】
前記アンモニウム・イオン選択性センサが、ノナクチンを含む、請求項２に記載のデバイス。
【請求項５】
前記センサが、ｐＨセンサを備える、請求項１に記載のデバイス。
【請求項６】
前記センサが、二酸化炭素センサまたは重炭酸センサを備える、請求項１に記載のデバイス。
【請求項７】
前記センサが、導電率センサを備える、請求項１に記載のデバイス。
【請求項８】
前記酵素の少なくとも１つが、化学架橋試薬を介して固定化される、請求項１に記載の

デバイス。
【請求項９】
前記酵素の少なくとも１つが、物理的吸収を介して固定化される、請求項１に記載のデバイス。
【請求項１０】
サンプルにおいて尿素を検出するための微細製作感知デバイスであって、
（ａ）パターニングされた微細電極表面を有するほぼ平面の基板と、
（ｂ）可塑化ポリマーおよびノナクチンを備える前記基板の少なくとも一部の上にわたる第１の層と、
（ｃ）前記第１の層の少なくとも一部の上にわたって配置され、ウレアーゼおよび炭酸脱水酵素の少なくとも２つの酵素が含まれる水浸透性基質を備える第２の層とを備える、デバイス。
【請求項１１】
前記ポリマーがポリ塩化ビニルである、請求項１０に記載のデバイス。
【請求項１２】
前記パターニングされた微細電極表面が、アンモニウム・イオンの存在に応答して電位を確立する、請求項１０に記載のデバイス。
【請求項１３】
前記少なくとも２つの酵素が、前記水浸透性基質において固定化される、請求項１０に記載のデバイス。